

## リーディング、リフレクション1

今回のリーディングは生徒の為の外国語教育に関する話でした。この発表をお聞きして色々な事勉強になりました。このNCSSFLの外国語のプログラムがある事が驚きでした。アメリカは英語圏であり、英語を学ぶことは少しだけで後は環境で学ぶ事が可能なので英語以外で他の外国語は必要ではないと感じました。その事で英語圏ではない国は英語として習得する事が必要だと考えました。しかし、この記事を読みますと世界やグローバルに関して英語以外の言語と文化の知識のため、色々な国に理解するために必要だと思いました。それから今の時代では色々な人々がいるので、色々な言語を使う機会があって、言語を習得するのが必要と自分で思いました。この記事を読みますと、そのつながりで、「世界経済において成功裏に競争し進め世界リーダーとして役割を果たすためには米国は市民が世界を幅広く理解し、能力を身に付ける事を確実にする必要があります。他の言語、および他の文化の知識。p g。1」これでアメリカは世界的と経済的に国民は他の言語や文化を知るべきだと思います。

日本での事につながりますと、外国人との交流のため日本の英語教育は力が入っている。日本の英語教育は文法、読んだりする事、単語が中心であると思います。その上で英会話教室を強める事が必要だと感じました。そのアメリカの記事で「21世紀言語や文化を学ぶための標準は言語や文化の勉強で学校の経験が必要、一つの言語ではなく他の言語でスムーズに話すこと、環境や方法で学ぶ事、スムーズで練習する事 p g。2」このつながりで文化や言語は違うので、こういうものが重要なもので世の中なってきたと感じます。個人での経験で、最初英語が話せない状態で学校行ってきました、学校で英語を話すのは環境でした、学校で文法や英語に関する物は勉強しましたが先生や友達と話す時に必至でした。成長した上で英語が大分楽になり、異文化や新しい出会の

機会がだいぶ増えました。この記事ではバイリンガルと言うのがありましたが、昔は珍しい事でしたが今の時代は二国間はある程度珍しくありません。でもこれから未来ではバイリンガルが増えると感じます。やはり、若い年齢で言語を学ぶのが一番と自分で感じます。これからもグローバル化や国際的に未来の時にバイリンガルが必要だと色々と判断しています。自分の話になりますと私は英語圏で生まれて育ちましたけど、親は日本人であり最初は英語話す事ができませんでした。最初、話した言語は日本語でした。日本語しか話せない上で留年し、他のアメリカ人と英語がついていけない事が経験ありました。でも自分にはあきらめず、少しずつ英語が上手になり今は英語と日本語を話せる事になりました。英語だけではなく日本語も勉強しました、日本語はもう話せる状態でしたが読んだり、書いたりする事ができませんでした。親のおかげで日本語学校、毎週土曜日通ってました、それで日本語を読んだり書いたりするのが出来るようになりました。、全て親のおかげで今バイリンガルになりました。バイリンガルの事、私の意見では難しいと思います。私の考えは、最初一つの国に十年以上住む事が必要、その次に自分が生まれた国ではなく他の言語を覚える事が必要です。自分の友達で色々な言語を話せる人たくさん出会った事があります。でも、完璧に話せない人がほとんどでした。私の考えはバイリンガルではないと思っています。バイリンガルは二つかもっとで日常会話以上で出来る人がバイリンガルと思います。それでやはり、言語を学ぶのには非常に難しいという事です。今の時代と未来になりますと、もう言語を学ぶ機会が段々少なくなると感じます。今はスマートフォンや色々な機会を作り、翻訳が簡単に出来る。未来ではその国の言語を話すのをしなくても、携帯で話すとその国の言語が携帯から出てくるのがだいぶできています。その上で、もう誰も言語を学ぶのは国際的に少なくなっているのが確かです。